

大津島データ 124世帯
人口162人 男68人 女94人
高齢化率77.2%
(令和8年1月31日現在)

潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん



すだいだい収穫合宿 開催

昨年11月27日〜30日までの計4日間、拓殖大学関ゼミと周南公立大学寺田ゼミ、一般学生が、合同で大津島冬合宿が開催されました。

今年の特徴としては、周南公立大学の授業で応募して集まった学生が11名参加してくれました。受け入れスタッフとしては、島関係のボランティア、拓殖大学OB、一般ボランティアが、学生たちの滞在をサポートしました。

主なスケジュールは、例年通り、すだいだいの収穫、すだいだい加工、すだいだいの特産品開発などを行いました。

今年は、夏場の炎天下の影響で、収穫量が少ないと見込んでいましたが、今年も700キロ以上収穫することができました。

2日目には、ソフトバレー交流会を開催。みんなで汗をかい、交流を深めました。また来年の収穫も、皆さん島に来てくださいます！



文川大津島地区コミュニティ推進協議会 大友翔太

アイランダー2025開催

文川大津島地区コミュニティ推進協議会

昨年11月22日〜23日、池袋(東京)にて、アイランダー2025が開催されました。

今年も事前準備や、当日の運営は、拓殖大学の学生やOB達にサポートしてもらいながらブース運営を行いました。今年は、2日間を通じ、のべ120名以上の方が、大津島ブースを訪れ、大津島の話や山口県の話をしていただきました。

お客様の声で嬉しかったのが、「去年、すだいだいを買って美味しかったので、今年も買いに来ました！」「アイランダーで知って、実際に島に行きました！」など、継続して参加し続けたことにより、確実に首都圏で大津島の認知度や、すだいだいの認知度は、着実に高まっています。

その中で、印象的だったのが、「私、このすだいだいの種をとって、自分で植えてみるの」と言っていたお客様が、2年連続でブースに来てくれました。今回も来てくれたということは、去年は、ダメだったのか(汗)。果たして東京で、すだいだいは、育つのか。来年の楽しみがひとつ増えました。



大友翔太

「人生会議」講演開催



2月21日(土)、大津島ふれあいセンターで岐陽内科副院長 武居道彦先生による「人生会議」講演を開催しました。当日は、自治会長・福祉員・民生委員児童委員約20名出席がありました。昨年は悪天候で中止になっており、当日の天気も心配されましたが、無事に開催されほっとしました。大津島では、岐陽内科で受診されている方が多く、ぜひ聞いてみようと思いを運ば



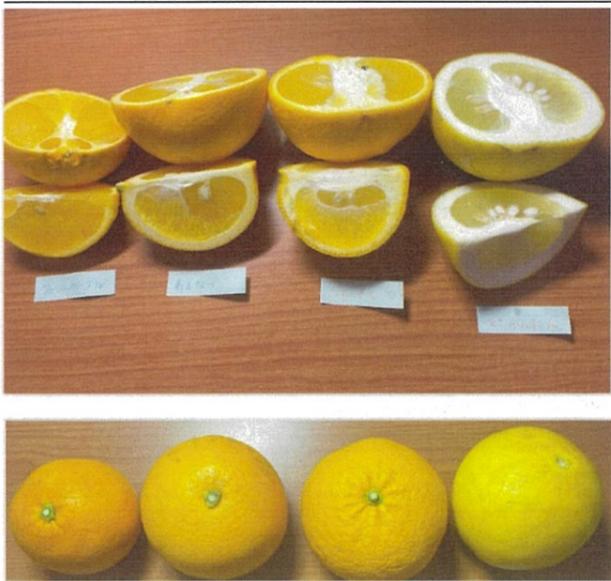
島の恵みで利き柑橘類

ファジーネーブル、あまなつ、べにあまなつ、はっさく、土佐ぶんたん…。何度説明されても正直ピンとこない。感想を聞かれて「だいたい」が特に美味しかったと、的外れなコメントも…利き柑橘類とはいかなくても、どれも美味しくビタミンがとれて、ちょっとした腹ごしらえになるのは間違いなし。島の恵みのおすそ分けに、いつも感謝しております。

ビタミン



文=大津島支所 中村 卓広



林野火災 注意報・警報

※対象期間：毎年1月1日〜5月31日まで



長い間、民生委員児童委員活動お疲れ様でした

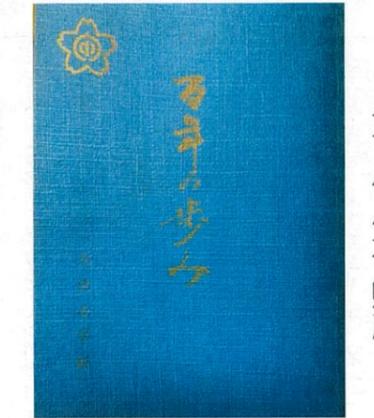


ふり返れば・・・あっと言う間の10年でした。ふり返ってみると色々な事がありました。でも島と言う事もあって、街中とちがいで、みんな親しい知り合い、親戚付き合いみたいになっている所もあって、協力的ですいぶん助かりました。退任はしたけど、これからもお世話される側でなく、お世話できる側にいたいと思います。気がつけば、私も含めみんな後期高齢者。最近、じゃあ又ね、がじゃあ又ね、転ばないようにね～となってきた。

民生委員児童委員 文=中村 キミ子

若潮の会通信 No.65

文川佐々木 照彦



今年も新年会を1月に無事に終え、スタートすることが出来ました。また、新たに2名が仲間に加わってくれました。大津小学校「百年の歩み」によれば、お一方ともに昭和50年3月卒業です。久しぶりにその冊子を見ると写真や名前に昔を懐かしみ思わず見入ってしまいました。山の山頂近くまで段々畑があり、港には多くの船が停泊していました。1974年に小中学校の校舎が建て替わり、今はデイサービスセンターと海の郷に変わっています。それ以前に建設された体育館だけが面影を残しています。時の流れを感じるばかりですが、今も昔も変わらないのは、その季節になれば自然と花が芽吹き、今は水仙がこちらに咲いています。そんな原風景を見ながら、新年度も活動できたらいいな。

◆新年度会員

- ・安達 恭一さん (本浦出身)
- ・石田 久美子さん (倉の窪出身)

【若潮の会 行事案内】

アイランドカップ・ソフトバレー大会
3月28日 土曜日 9時ごろから
大津島小中学校体育館
終了後、花見を兼ねた懇親会 開催



これからよろしくお預けします

この度、大津島郵便局に非常勤職員として勤務することになりました。皆様に愛される郵便局となるよう努めてまいります。お気軽にお立ち寄りいただき、お声がけください。お待ちしております。今後共、どうぞよろしくお預けします。

大津島郵便局 宮下 千代子

お知らせ 【次回潮流発行予定日】
5月1日 第309号

大津島地区社会福祉協議会からのお願い
善意銀行への寄付にご協力ください

移動図書館 やまびこ号ジュニア
3月24日(火)、4月25日(土)
馬島11:30~ 刈尾12:20~

【編集後記】
ミラノ・コルティナ冬季オリンピックで日本人が大逆転で感動を生みました。3月はワールドベースボールクラシックが始まります。皆さん、応援しましょう。

文責：大津島支所 原田 和保

知っちゃんかね

ひょうたん山の祠搜索隊

「ひょうたん山には神様がいたが、お大師様を農道に上げてからは、詣る人も居らんようになっちゃるが、どうなっちゃろうか」と、時折島の人の話題に上る神様の話。何の神様かと、母や周りの人達にも聞いたが、神様の名前はわからず終い。「遠くに漁に出る時は詣りよったけん、海の神様じゃあろうが」「歯が痛くてならん時には、虎魚を持って行き、どうぞ治しちやってくれませえちゆうて詣りよったね」とは聞いた。そうした話を何かの折に、周南大学で古いほころなどを調べておられる先生に話した事があった。「それは是非探してみたいですね」と言われ、蛇や蜂がいない冬場にと約束した。

そこである冬晴れの日、上は七十五歳、下は二十歳過ぎ、大学の先生、大学生、テレビ関係の人、ただのバーさん各一人づつの搜索隊が祠捜しに向かう事になった。農道一号线、墓地へ向かう手前の下り坂。ここから搜索開始。各々草刈り機、鎌、鋸、剪定鋏などを手に、まずトキワと呼ばれる大きい茅を刈り取る所から始める。二十年余りも人の手が入っていない道は手強い。殴るように道具を奮いながら、中々先には進めない。それを見ながら、「この下のミカン畑の人はどこを通っていたのだからと疑問に思っ、その辺りを見てみたら、荒れ畑の淵から下に下りられる窪みを見つけた。そこから降りると本来の道に繋がるのが分かり、そこからひょうた



ん山に向かう。みんな手物(道具)を駆使して荒藪を均してゆく。さすがとんとん進むせなかに「その先が平になっちゃるから、その先の大きな木の下に祠はあるはず」と声を掛ける。辿り着いてすぐに、台座が二基、屋根が見つかった。その後落ち葉の下や石垣の周りから、U字溝のようなのが二つ。尚もこれ、扉じゃないですか」「もう一つ屋根が」次々に見つかった。並べてみると、丸い穴が穿たれた台座が二基、屋根二つ、U字溝のような本体二つ、扉が二枚ある。台座の在った辺りを平に均合わせて置いたら、見事、二十年ぶりにひょうたん山の神様が復活した。残念ながら扉が一枚見つからなかったが、搜索隊大成功。全員整列して、お米と水仙の花を供えて、柏手を打ってご挨拶をした。神様も喜んでくれてるに違いない。「あんたらあ、きつとええ事があるよ」と感謝をこめて若い人達に伝える。一人二人じゃあ、出来なかった。搜索隊に心から感謝。ここにまだ詣る人達が有りますようにと願いを込めて、祠を後にして、搜索隊解散。

文川松本 千恵子

徳山湾見聞録

55

「君と好きな人が百年続きますように」

文川大津島巡航 三崎 英和

もうじき春が訪れる3月号では、桜の話題をよく提供させていただきます。樹木全体が花で彩られる桜は、その散っていく風情も含め、他の木々の花を寄せつけない圧倒的な魅力があります。そんな桜のように、毎年、春に美しい花をいくつも咲かせているにも関わらず、先に関花する桜に話題を奪われて、あまりニュースにならない花木の一つにハナミズキがあると思いますが、皆さんはハナミズキは、皆さハナミズキは大津島島内にも植えられているのでしょうか。私はその木と島内で行くわした記憶はないのですが、徳山市街地では、街路樹としてたくさん植えてあるため、春の日差しに誘われて街を歩いていけば、必ず目に入ってくるハナミズキという、一青窈さんの歌で有名にもなりましたね。あの「君と好きな人が百年続きますように」の歌詞の歌です。そのため、この歌は恋愛の歌と思われがちなのですが、実は、平和を祈る歌だったこととはあまり知られていないようです。彼女のインタビュー記事から引用すると「2001年のアメリカ同時多発テロ時に、ニューヨークに住んでいた友人からメールをきっかけに、大切な人たちの未来、そして世界平和を祈る気持ちも込めて作詞したものだ」とのことです。このハナミズキは、明治45年に当時の東京市長が米国に桜を寄贈した返礼として、大正4年と6年に、米国から贈られてきた木でもあることから、そこにも桜との関係性が見られます。



イラスト 三崎さん